

花巻の仕事

Made in HANAMAKI



打ち上げ花火

日本の夏の風物詩の一つ、打ち上げ花火。配合、星掛け、成型、乾燥工程など、手作業で一つ一つ製造。東北地方の花火大会だけでなく、テーマパークや各種イベントにも使用され、夜空を彩っています。

会社名 株式会社 芳賀火工岩手工場

所在地 花巻市東和町田瀬25-258-1

(☎0198-36-3878)

会社概要 江戸時代の砲術師として始まり、現在は花火の製造・打ち上げを中心に事業を展開。岩手と宮城の2工場体制で、日本の伝統花火から最先端の花火まで幅広く開発している

■ **どんなトラブルがあるの？**
 ○パソコンを操作中、画面に警告が表示された。不安になり、表示に従ってセキュリティソフトや、性能を改善するソフトなどをダウンロードしたところ有料だった。慌ててソフト会社に電話をかけたら、外国語でアナウンスが流れ、初めて海外から購入したことに気付いた。解約したいが、その方法が分からない。
■ 注意することは？

○ **警告が表示されても信頼できるか分からないときは、クリックしないようにしましょう**
 ○ ソフトを購入する場合、日本語で問い合わせできる窓口の有無も一つの基準に、複数のソフトを比較検討しましょう
 ○ パソコンの危険な状態を回避するために、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)のホームページから情報収集ができるのを利用しましょう
■ 困ったときは？
 ○ 市民生活総合相談センター(☎24-2111 内線259)へ

パソコン画面に突然表示される警告
 すぐにクリックしないこと！

市民生活コーナー

「強くなりたい」一心で 円心空手 世界の頂点をつかむ



やすなり
佐々木 康成 さん
 (高木 32歳)

円心空手に取り組む佐々木康成さん。5月に米国コロラド州で開かれた円心空手の世界大会では、ライト級で平成22年に続く2度目の優勝に輝きました。

ができた要因は
 初めてのころは、地方大会を勝ち上がることもできませんでした。その悔しさをバネに、ひたすら強くなりたいという一心でがむしゃらに練習に励んできました。その結果が全国大会、そして今回の世界大会優勝につながったと思います。

◆ **円心空手の特徴は**
 円心空手では、「さばき」と呼ばれる、つかみと投げが認められています。実戦を想定した武術で、護身用としても役立ちます。

◆ **始めたきっかけは**
 中学時代から柔道に打ち込んできましたが、柔道の技が生かせる円心空手に魅力を感じ、10年ほど前から本格的に習い始めました。
 ◆ **世界大会で優勝すること**

◆ **今後の目標は**
 現在は、円心会館岩手支部花巻道場の責任者を務めています。成とともに、円心空手の普及にも力を入れていきたいと思っています。選手としては、階級を一つ上げたミドル級でも世界を目指していけたらいいですね。

現在、円心会館岩手支部花巻道場の責任者を務めています。成とともに、円心空手の普及にも力を入れていきたいと思っています。選手としては、階級を一つ上げたミドル級でも世界を目指していけたらいいですね。

いきいき仲間たち



水彩色鉛筆や鉛筆で絵を描く

れもんの会

【問い合わせ】
 代表 **四宮始**さん(☎24-5158)



月2回、まなび学園で活動している同会の皆さん。対象物をしっかり観察して、スケッチブックに鉛筆を走らせませす

鉛筆で色を塗ったところに筆などで水を加えると、色が溶け出し水彩のようなタッチを表現できる水彩色鉛筆。その水彩色鉛筆や鉛筆などで絵を描くことを楽しんでいるのが「れもんの会」です。
 高齢者支援を行うNPO法人の絵画教室を受講したメンバーが集まり、平成24年5月から活動を開始しました。会員は60代以上の13人。釜津田啓子さんの指導の下、月2回、まなび学園で、花や人形、本など身近にある物を写生し作品を描いています。出来上がった作品は、まなび学園祭などで発表します。

「水彩色鉛筆は手軽に使えるのが魅力です。描く対象物をしっかり観察することで、物を見る目が養われ形や色の美しさ面白さが分かってくる」と会の代表の四宮始さんは話します。
 伸び伸びと絵を描くことを通して、会員同士の会話が弾み交流が深まっています。

の説明と市内各施設の見学を通じて花巻市の市政の全体をおおむね把握することができました。感心することやヒントになることが多くあり、今後大連市での市政運営に活用していきたいです。
 また、花巻は観光と国際交流に非常に力を入れている都市であり、私も1年間関連する仕事に携わることができました。例えば、国際交流室のフェイスブックなどによる情報発信、各種観光パンフレットの翻訳と校正、市内案内情報や生活情報の作成と翻訳、花巻国際交流協会への協力、小学校の授業での中国の紹介や中国語講座などです。

これらの仕事によって、多くのすばらしい出会いや花巻をもっと身近に感じる機会を得たほか、たくさんのいい思い出をつくることができました。大連と花巻の交流のために少しでも力添えできたことがうれしいです。そしてこの場で、1年間温かい心で接して下さった花巻の皆さんに感謝の気持ちを伝えたいと思います。

花巻市が市民の皆さんの力と知恵で、花巻の貴重な文化と歴史を守り、活気あふれるまちとして発展するようお祈りいたします。

大連市協力交流研修員
 吳 勇武

世界と花巻



日居城野運動公園付近の田んぼ

花巻での1年

花巻での生活も1年近くになり、研修期間を終え、そろそろ別れを告げる時期になりました。
 私が花巻に来たのは、残暑がまだ続く昨年8月末。間もなく迎えた収穫の季節には、自転車を走らせ、黄金に輝く田園風景を満喫することが楽しみでした。また、時々早池峰山などの山を訪ね、その途中で多くの方々と知り合い、楽しいひとときを過ごしました。
 10月からは市役所内で2カ月間研修し、各部署